

大槻文彦と斎藤秀三郎

—仙台ゆかりの二大辞書編纂者—

東北大学大学院文学研究科 言語学研究室 後藤 斉

東北大学市民オープンキャンパス **紅葉の賀**

2020-11-03

東北大学大学院文学研究科第一講義室

概要

大槻文彦 (1847～1928) は日本初の近代的国語辞典『言海』(1889-91)を編纂した。**斎藤秀三郎** (1866～1929) は『熟語本位英和中辞典』(1915)などを著した。どちらも時代を代表する辞典で、現在に通じる価値を持っている。

明治から大正にかけて活躍したこの二人の辞書編纂者が**いずれも仙台ゆかり**の人物であることは興味深く、紅葉の賀にことよせて紹介を試みたい。

二人には類似点もあるが、対照を示す点もある。特に**文芸に対する態度は大きく異なっている**。

0. はじめに

高田宏 『言葉の海へ』 新潮文庫

The screenshot shows a web browser displaying the product page for the book '言葉の海へ' (The Sea of Words) by Takada Hiroshi. The page features a main title, a price of 649 yen (tax included), and a '試し読み' (Preview) button. A detailed description of the book's historical significance is provided, along with a list of awards. The book cover image shows an elderly man reading a book, with text indicating it is the first modern Japanese dictionary, completed by Takada Hiroshi in 1913.

高田宏『言葉の海へ』 | 新潮社

https://www.shinchosha.co.jp/book/133301/

日本初の近代国語辞書『言海』を独りで編纂した気骨ある明治人 大槻文彦の苦闘の生涯！ 大佛次郎賞・亀井勝一郎賞受賞。

言葉の海へ
高田宏 / 著

649円 (税込)
発売日：2018/03/01

試し読み

国語の統一こそ、一国の独立の標識なのだ。日本が近代国家となるためにも、一日も早くこの辞書を完成しなければならぬ……。子を失い、妻に先立たれながらも、17年間で費やし、ついに明治24年に大槻文彦はわが国初の近代国語辞書『言海』を独力で完成させた。近代国家日本の確立に献身した一人の明治人の姿を激動の時代に重ね合わせで感動的に描き出す。大佛次郎賞、亀井勝一郎賞受賞作。

受賞 第10回 亀井勝一郎賞 亀井勝一郎賞
受賞 第5回 大佛次郎賞

0. はじめに

The screenshot shows the website for Chuo Kōron Shinsha, a publisher since 1886. The page is for the book '英語達人列伝 あっぱれ、日本人の英語' (English Masterpieces: Ah, Japanese English) by Yoshifumi Saito. The book cover is dark green with white text. The website navigation includes '雑誌', '書籍', '文庫', '新書', 'ノベルス', 'Webマガジン', and '電子書籍'. The book details section includes the title, author, and a description. A '書誌データ' (Bibliographic Data) table lists the publication date, type, page count, price, and ISBN. A '書店の在庫を確認' (Check book store inventory) button is also visible.

英語達人列伝
あっぱれ、日本人の英語
斎藤兆史 著

「日本人は英語が苦手だ」という通念など、信じるに足らない。かつての日本には、驚嘆すべき英語の使い手がいた。日本にいながらにして、英米人も舌を巻くほどの英語力を身につけた〈達人〉たちは、西洋かぶれになることなく、外国文化との真の交流を実践した。岡倉天心、斎藤秀三郎、野口英世、岩崎民平、白洲次郎ら、十人の「英語マスター法」をヴィヴィッドに紹介する本書は、英語受容をめぐる日本近代文化史を描きだす。

書誌データ	
初版刊行日	2000/5/25
判型	新書判
ページ数	272ページ
定価	本体760円（税別）
ISBNコード	ISBN978-4-12-101533-4

書店の在庫を確認

斎藤兆史 (よしふみ)
『英語達人列伝
中公新書

あっぱれ、日本人の英語』

0. はじめに

宮城県図書館開館記念事業 1998年
「みやぎゆかりの先哲たち」

1. 大槻文彦講演会 (5. 23)
高田宏「大槻文彦をめぐる」
2. 斎藤秀三郎講演会 (11. 14)
出来成訓(でき・しげくに)「斎藤秀三郎と英語辞典」

0. はじめに

宮城県図書館特別コレクション

大槻文庫

「言海」の著者、大槻文彦の旧蔵書。昭和25年、大槻家より寄贈されたもの。和古書71点(215冊)。いずれも大槻家の学問を知るための貴重な資料であるが、中でも「言海」の自筆原稿は白眉である。

県指定有形文化財「言海(稿本)」ほか

出来文庫

宮城県出身の英語学者・斎藤秀三郎(1866～1929年)の研究者である、出来成訓教授(神奈川大学)から平成16年に寄贈されたもの。斎藤の代表的著作「斎藤和英大辞典」(1928年)や斎藤が設立した正則英語学校(東京神田)の教科書類、講義録等251点。「英文鑑」(翻刻)等、日本の英学史における貴重資料も含まれている。

県指定有形文化財「熟語本位英和大辞典(自筆原稿)」

1. 大槻文彦

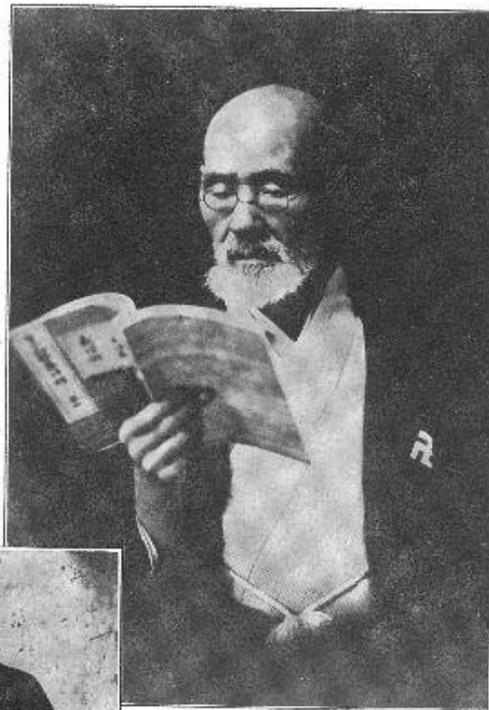
(1847—1928) 国語学者。儒者大槻磐溪(ばんけい)の三男として江戸に生まれる。如電(じょでん)の弟。開成所、**仙台藩養賢堂**、三叉(さんしゃ)学舎などに学んだ。1872年(明治5)文部省八等出仕、英和辞書の編集にあたり、その後**宮城師範学校校長**、文部省御用掛などを歴任し、そのほか国語調査委員会委員などをも務めた。91年刊行完成の『言海』は、ウェブスターやヘボンの辞書を参照し、各語の発音、語の類別や語源、語釈、出典にわたって記したもので、国語の普通辞書として広く用いられた(のちに増補されて『大言海』になる)。また、その巻頭に付した「語法指南」に改訂を加えて97年『広日本文典』『広日本[文典]別記』を刊行したが、これは和洋の折衷文典として、文法学の基礎をなし、学校文法にも広く影響を与えた。このほか、国語調査委員会の『口語法』『口語法別記』の編集にもかかわるなど、口語研究にも新しい面を開いた。[古田東朔]

小学館『日本大百科全書』から

1. 大槻文彦

大槻文彦肖像写真
1926

1866



(大正十五年)



(慶應二年)

大槻文彦博士肖像

1. 大槻文彦

主要著作

- ・『言海』(1889-91)
- ・『広日本文典』『広日本文典別記』(1897)
- ・『口語法』『口語法別記』(1916-17)
- ・『大言海』(編纂中に没. 1932-37)

1. 大槻文彦

訃報

『東京朝日新聞』

1928.2.18

成する事につとめまが萬策に謝す考へですが今暫くつきれば不明を天下に成りゆきを待たたい。」

十二型機では絶対許せぬ

兒玉航空局技術課長の談

「十二型であくまで押し通すならば航空局では設計書では許可出来ないから破壊試験まで行はねばならぬが航空局は法で定めても川四の方では十年の苦勞で今日のフライドの上でこんな試験でも黒白を決せさせる事は前において忍びない事であるし第二機を三日の決闘の題目で修正改造してくれれば解決する事だしその

ために時期が遅れて練習等に差支へがあれば萬全を期して延期するかも知れない出来ぬ事なら早い方がいいが無理をしてまで不安を押しつけてやる必要はないまづ今日は飛行機を作る事を目的にして進むのが至當かと思はれます國民的壯志の成功を期するため」

大槻文彦翁逝く

「言海」の著者で有名な學者

昨日根岸の自邸に

「言海」の著者で有名な學者大槻文彦翁は昨年暮より風邪にかかり根岸御行の松のほごりなる自邸に病室中であつたが最近軽い肺炎を併發して十七日午前五時遂に逝去した、行年八十二

大槻文彦翁は福山台藩じゆ香で蘭學の大家であつた大槻駿溪の家筋に生れ幼より蘭學漢學蘭

學を修め明治七年官立師範學校校長に就任同八年文部省報告課にいり日本除書欄さんの任に當り同十九年その初稿成り次いで同年第一高等中學校校長、古事類苑編さん委員に擧げられ蘭文學に力を注ぐ事となつた、かくて明治廿四年「言海」の出版成り以來四十年これが訂正増補に盡したかの大槻如電翁は故人の

實兄に當り兄弟そろつて國文學の大家として働いた功績は絶大である「高麗は大槻文彦翁」

最大の國語學者

上田博士談

「大槻先生は日本の持つ最大の國語學者で彼の日本國文典と言



海は明治年間を通じてのものとも偉大なる著述中の二つであつたに違ふ、國語學を修めた程の人でこの二著述の恩恵をうけなかつた者は絶無といつてもよいであらう、私は國語學會で長い事先生と一緒に仕事をし、て來たが先生の學識と人格には心から敬服してゐた今先生を失つた事は非常に残念であるが數年來先生が心血を注がれて居られた言海の政訂版の出版を見ずに亡くなられたとは先生もさぞ御遺憾の事であつたと思ふ」

1. 大槻文彦 現代



- ・『言海』ちくま学芸文庫版 (2004)
- ・一関市博物館編『ことばの海 国語学者大槻文彦の足跡』（一関市博物館, 2011).
- ・今野真二『『言海』と明治の日本語』（港の人, 2013）
- ・今野真二『「言海」を読む ことばの海と明治の日本語』（KADOKAWA, 2014）
- ・今野真二・小野春菜『言海の研究』（武蔵野書院, 2018）
- ・安田敏朗『大槻文彦『言海』辞書と日本の近代』（慶應義塾大学出版会, 2018）

2. 斎藤秀三郎

(1866—1929) 英語学者。**宮城県**に生まれる。**宮城英語学校**を経て工部大学校(現、東京大学工学部)中退。1887年(明治20) **二高助教授**。岐阜、長崎、名古屋中学校で教え、1894年一高教授。1896年神田に**正則(せいそく)**英語学校を創設、校長となり、**English Idiomology**(英語慣用語学)を追究した。その『**实用英文典**』は現行の学校英文法の基盤となり、『**熟語本位英和中辞典**』が英語学界に与えた利益は計り知れない。著書は二百数点の多きに上る。[大村喜吉]
小学館『**日本大百科全書**』から



2. 斎藤秀三郎 人脈

斎藤秀雄 次男、音楽家。小澤征爾、山本直純らの師

教え子

- ・古川英語学校 1887? 吉野作造(小学生) 斎藤のあまりの恐ろしさに1日でやめる。
- ・私塾仙台英語学校 1887 土井晚翠 バイロンの詩に親しむ
- ・二高 1888 井上準之助(蔵相)
- ・岐阜中学 高木貞治(数学者)
- ・正則英語学校 市河三喜、田中菊雄(英語学者)、高柳賢三(法学者)、石橋湛山(首相)、平塚らいてう、山本有三、西条八十ほか、きわめて多数

2. 斎藤秀三郎

主要著作

- *Practical English Grammar* (1898-99)
- 『熟語本位英和中辞典』 (1915)
- 『和英大辞典』 (1928)
- 『熟語本位英和大辞典』 (未完)

2. 齋藤秀三

訃報

『東京朝日新聞』

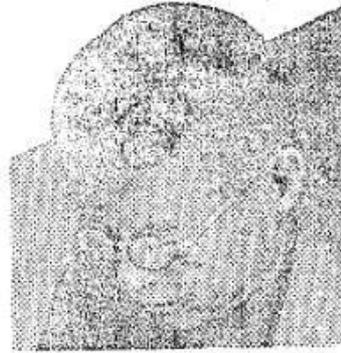
1929.11.10

持ちであるが、癩癩は去る一月頃から精神に異状を呈し去る九月まで松澤の厨病院に居り退院後も思はしくなく去る四日には陛下八王子市寺町のある農家へ

預けられ二日間の後再び厨宅その後は床に就いてゐたが八日夕刻突然苦悶をはじめ遂に死したものである

正則英語學校長 齋藤氏逝く

教へを受けた者數十萬人
洋行嫌ひの語學者



神田正則英語學校長齋藤秀三郎氏は一昨年以來前胸か心を病み、漸次衰弱であつたが遂に九日午前一時十三分逝去した。行年六十四、葬儀は十二日午後一時半より神田錦町

の正則英語學校で校務により執行するに成つた

同氏は少年時代から英人ブラウソンの經營する英語學校に學び、東大の前身である工部大學に入つて中途退學、更に英人ダイクソンについて英文學を專修、京城中學校第二高等中學校一高の教授等に應任し明治廿九年十月正則英語學校を同廿四年九月同興館學校を創立、以來三十余年間自校の教壇に立ち子弟の教育に當り氏の教へを受けた者は同校だけでも數十萬人の多數に上つてゐる、この間、氏独自の研究より成れる會話文法をはじめ氏が常に「組織英語學」といつて

ゐた三十年の苦心の結晶として熟語本位の中辭典として昨年は和英大辭典を完成するなど英文學に關する著書は數百冊に上つてゐる

ラヂオで

空相場

一二名檢舉さる

【岸和田電】岸和田市を中心に泉南、泉北兩郡一帯にラヂオによる短期の空相場を盛んに行つてゐることを岸和田署で探知し岸和田市本町小川兵馬(と)を取調べた小川は相場表を持つて管内漁船各船に出沒して誘致し買得漁業隊長や助役、船長からの確保有償費二千余圓を横領した外泉南、泉北兩郡にわたつて二萬餘圓の被害を與へてゐた、又岸和田市魚屋町の株式會社小林實太郎(と)等は二十一名の客を自校に引いれラヂオで空相場をやつてゐる現物を取押へられた

弔歌 土井晩翠

(續藤秀三郎氏告別式において朗読せられたもの)

故郷の青葉の山のみちばも
あしたの霜をわぶるこの頃。
イギリスの言葉やまことにひろ
めたる

高き功の第一人者。

あゝわが胸六尺の巨く
金がらの意志をみたし、妻今
は無し。

秋雨の夕さびしく空暗し

都もやがて夜寒の頃を。

思ひやる錦らんおほふ棺の中

今せきとして英魂眠る。

飢ゆるわしのゑを追ふ如き熱

をもて

學の道をのぼりゆきし人。

奇しき習、防ばひ伏して晝に

夜に

ペン走らし、非凡の學者。

名門の父よりうけし西の邦の

文筆のしるべイギリスの文

字。

大八州回れる海を遂にこさず

イギリスの國見たりしも奇

し。

正則の英語學校

幾萬の人才を世に送りいだせ

し。

その著述『英文法』の精や美や
アルピオンの子ら面ありや否

や。

その著述『英和辭典』よへーヂ
ごと讀みつくすへき書齋にや
あらぬ。

その著述『和英大字典』

心血の紅きをペンに染むるが

如し。

おほいなるその勲業を

何人が百年の後に歌ひつゞけ

む。

露きとめん昭報の四年

十一月の九日の偉人逝けり

と。

かんばしきほまれ留めし藤府

の空

その一隅に眠りゆくや君。

都にもあと残るべき遺骨の

一片わかつて五城樓の下。

あゝ都御苑の菊の盛なる今

逝く君を痛まさらめや。

さはれおもふ生死去來は皆神

祕

みなおほいなる靈の御手よ

り。

比希のいさをし高き君の魂

大慈の御手は数はさらめや。

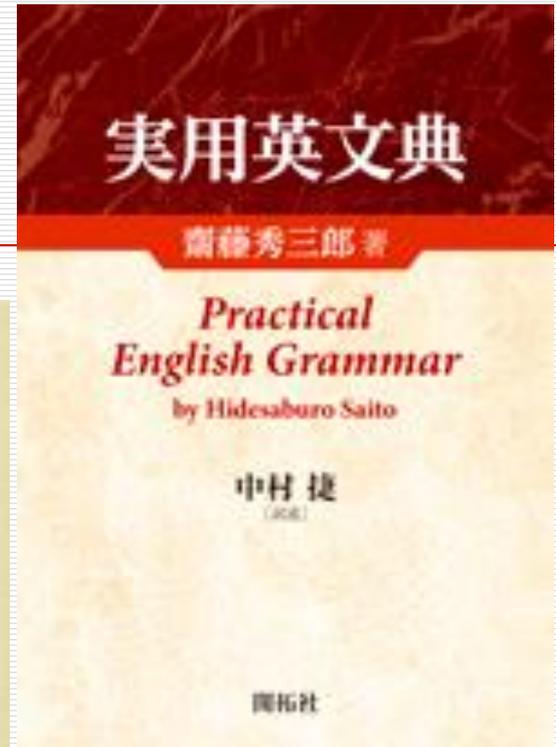
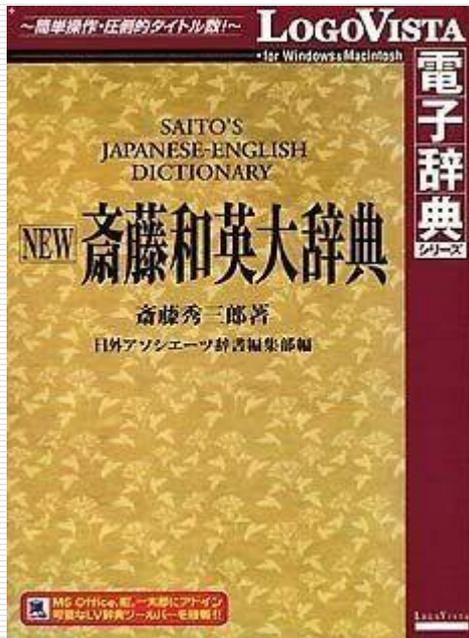
あゝ大慈大悲宇宙の大神祕

子らよひれふしたと信にい

2. 斎藤秀三郎 現代

- ・日外アソシエーツ辞書編集部編『CD New斎藤和英大辞典』(日外アソシエーツ, 1999; ログヴィスタ, 2013)
- ・竹下和男『英語天才 斎藤秀三郎』(日外アソシエーツ, 2011)
- ・中村捷訳述『实用英文典』(開拓社, 2015)
- ・豊田実増補・八木克正校注『熟語本位英和中辞典 新版 CD-ROM付』(岩波書店, 2016)
- ・八木克正『斎藤さんの英和中辞典 響きあう日本語と英語を求めて』(岩波書店, 2016)

2. 斎藤秀三郎 現代



2. 斎藤秀三郎 現代

Idiomology (慣用語法学)

「単語は結合がすべてである。単語が結合することによって、構文や連鎖をなす。構文のない動詞は動詞ではなく、連鎖することが重要語を重要語たらしめる。連鎖とは、そのような単語を使って作られる熟語、諺、成句表現である。」

現在広く行われているコーパス言語学(コンピューターで大量のテキストデータを分析する)の基本にある考え方に通じるところがあり、実際、間接的な影響関係が指摘されている。

中村捷 「斎藤の頭の中にあった英語と日本語の比較・対照研究の知識がIdiomologyであったと考えられる。」

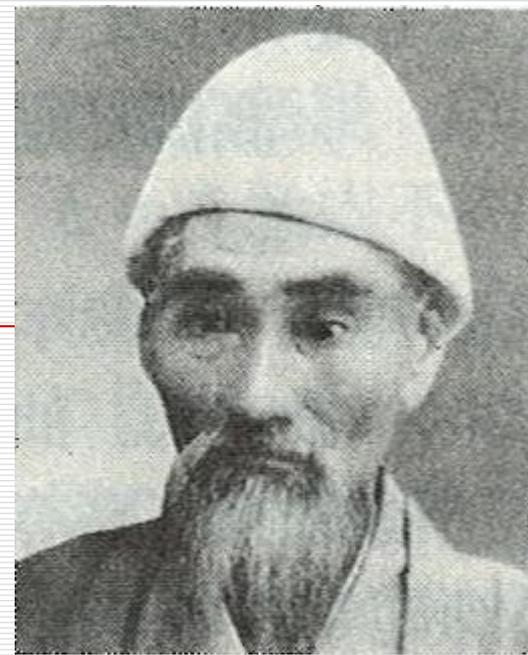
3. 大槻と斎藤の接点

横尾東作 (1839~1903)

仙台藩の英学のパイオニア

- ・1866年、横浜で大槻の英語学習を援助
- ・1871年、仙台藩の英学校「辛未館」で斎藤に英語を教授
- ・1887年、硫黄島探検航海、のち南洋開拓論を提起
- ・1917年、河東田経清『横尾東作翁伝』に大槻の序。

「慶応二年、翁の横浜遊学中、翁の許を訪い、其紹介を得て、米国人バラ先生に就き、英書を読むことゝなれり、...懐旧の念、禁ずること能はず、翁は常に一見識を立てゝ人の意表に出でむの志ありき、その南洋諸島に航海し、物産貿易の道を開きしが如き...邦商の意表に出でし事業の一なり、」



4. 辞書・文法以外への関心

二人の生涯の中で、辞典と文法書の編纂が最大の関心事であったことは間違いない。しかし、それぞれ他の分野の活動もある。

特に大槻はマルチ人間

歴史事実の考証（身勲履も？）

慶長遣欧使節(支倉常長)、天平産金遺跡、多賀城
伊達騒動、葛西氏、洋学史

4. その他の関心

大槻文彦 恋歌嫌い (『広日本文典別記』)

およそ、世に、恋歌ばかり厭はしく憎むべきはあらざるべし。…… 夫婦の大倫はさるものにて、よこさまなる恋は慾なり。喜怒哀樂の常情だに、発して節に中らざるは、これを抑制す。まして、慾をや。これを抑制し得る良能あるを人とす。造化よりこの良能を賦せながら適用せざるは、人にあらず。情のゆく所を恣にして抑制する能力なきは小児と禽獣となり。情慾のゆく所を恣にすとも歌はよまねばならずとにや。さらば歌といふものは廃絶せしめてよけむ。又、或は歌道に、仮設の空題として詠ずるのみと言はゞ、歌は至情に発するを旨とすとの論旨と衝突するをいかにかする。……恋歌、実に亡国の恨なり。古来、諸集中の恋歌、悉皆、抹殺削除すべきなり。

4. 斎藤における文芸

辞典の例文に、俳句、川柳、和歌、諺、などを積極的に採用
イディオモロジーの一環、文芸への理解

孝行をしたい時には親は無し

When I wish to be a good son, my parents are no more.

手に取るな やはり野に置け 蓮華草

Take not in your hand, / But leave her where you found /
The flower of low ground!

酒飲めば何時か 心も春めきて 借金取りも 鶯の声

Wine maketh glad the heart of man, / And makes of winter
genial spring; / And e'en the bill-collecting dun / Doth to
me like a robin sing.

4. 斎藤における文芸

- ・対訳表現集 1909

『日英新婚 むつきの巻』

日英の縁を結ぶは やくもたつ出雲にあらぬ イヂオモロジー

『日英新婚 きさらぎの巻』

- ・和歌集の英訳 すべて1909?

『百人一首 句々対訳』

『日英新婚 弥生の巻 春と恋』(古今集)

『日英新婚 卯月の巻 夏と恋』(古今集)

『日英新婚 さつきの編 秋と恋』(古今集)

4. 斎藤のその他の活動

・和歌集の英訳

『日英新婚 さつきの編 秋と恋』(古今集)

奥山にもみぢ踏みわけ 鳴く鹿の 声聞く時ぞ 秋は悲しき

In woodland' depths,

Where trodden maple-leaves betray

The Stag that calleth to the hind,

The plaintive music well may say

How pensive is the Autumn's wind!

まとめ

大槻文彦(1847～1928)は日本初の近代的国語辞典『言海』(1889-91)を編纂した。斎藤秀三郎(1866～1929)は『熟語本位英和中辞典』(1915)などを著した。いずれも時代を代表する辞典で、現在でも価値がある。この二人の辞書編纂者はいずれも仙台ゆかりの人物である。

二人には類似点もあるが、対照を示す点もある。特に文芸に対する態度は大きく異なっている。

大槻は恋歌嫌い。

斎藤は積極的に俳句や和歌を英語に訳出。

大槻文彦と斎藤秀三郎

—仙台ゆかりの二大辞書編纂者—

ご清聴ありがとうございました。